

平成30年度事業報告

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

定款に定められた、障がい者福祉事業を下記の通り行った。

(1) 障害福祉サービス事業

①就労移行事業 (利用人員3人 延べ利用日数 148日、開所日105日)

利用者2人について、集中して仕事をするための訓練や、就職先の選定、面接指導等の訓練を行った。

②就労支援A型事業 (利用人員34人 延べ利用人数 6,653日、開所日247日)

ア、プラグ事業

生産数が計画を下回った。これは、発注元(小川精機)のアメリカの販売会社が倒産したことによるものだが、新規の取引先が決定し、新年度9月以降は改善される見込み。

イ、バフ加工事業

納入先元受の自動車会社の不正発覚から発注が減少し、売上げが計画を下回った。バフ加工事業の安定化に向け、発注単価の見直し等をウインナック株式会社と協議を行っている。

ウ、その他の受託事業

就労移行事業利用者のため内職的な仕事を受託したものである。

(2) 上記(1)の事業に付帯または関連する事業

①職員研修事業

指導員の資質向上のため、社内研修・社外研修を行った。

法人内研修 12回(月1回 全員参加)

法人外研修 10回(9人)

②職員会議

支援会議 就労移行事業 6回 A型事業 24回

安全衛生会議 12回(月1回)

工賃向上のための会議 12回

向上のための会議 6回

③支援学校等との連携

特別支援学校、聾学校の実習や見学を積極的に受け入れた。

実習の受け入れ 延べ14人(4校)

見学の受け入れ 延べ13人(2校)

支援学校3年生、直BアセスメントのためB型短期利用 1人(1校)

④一般への啓発

行政関係機関、人権団体等の見学を受け入れた。

見学の受け入れ 1回（32人）

⑤その他

利用者のリクリエーションを行った。

2回（34人）

以上